

後輩へのメッセージ

持続可能社会実現プロジェクト —地域資源を活かして—

私は、環境問題に対して自分たちで改善策を考え、またそれを実行するまでのプロセスを通して通常の座学からでは得られない経験や知識が得られると思ったため、この科目を履修しました。

春学期には、履修生全員でエコとは何かについて考え、精華町における特産品であり一方で環境問題として挙げられる「竹」という言葉に着目しました。さらに地域資源を生かした持続可能な循環型社会の形成にむけて、精華町内で完結する地産地消（Local production for Local consumption）を念頭に、竹を中心としたエネルギーシステムを提案し、議論しました。

しかし個人の環境問題に対する知識不足もあり、なかなか意見がまとまりませんでした。また、昨今の状況から対面での活動ができなかったことから、リーダーとしてなかなか思い通りにはまとめられず、隔靴搔痒に感じることもありました。秋学期には、春の反省を活かし、オンラインでも対面授業のように進められる方法を模索しました。

本科目では講義型授業とは違い、コミュニケーションスキルだけではなく、主体的に行動することで能動的に考える力が身につく科目です。環境問題には興味はない方でも自然と自分から動く力を得ることができ、マルチな教養も身につけることができるのでお勧めです。是非、履修してみてください。

Could you catch up a finger print of the Gods??

SDGs 世代に贈る！ 「こどもと社会をつなげるゲーム」デザイン

本プロジェクトの履修を検討されている皆さんへ。

皆さんの中には、「学生時代に何かに打ち込みたい」「1 から自分の手で何かを作り上げてみたい」という方が多いのではないのでしょうか。本プロジェクトにおいて、1 番輝ける人は、そのような思いを持つ人です。

0 → 1 で新しいものを創造するという科目の性質上、主体性や学びへの意欲、マネジメント能力やデザイン思考など、他のプロジェクトに比べて個人に問われる能力は決して低くはないです。しかし、挑戦の連続と目に見える成果に、強いやりがいと楽しさを感じながら本プロジェクトをやりきった時、皆さんは今まで以上に成長しているはずですよ。

是非、本プロジェクトに挑戦してみてください！